

EVENING SEMINAR

皮膚への スキンケア アプローチ

皮膚疾患ケア
からキレイな
肌への挑戦

座長

青山 裕美 先生

川崎医科大学皮膚科学教室 教授

渡邊 玲 先生

順天堂大学医学部皮膚科学講座 主任教授

SEMINAR 1

病院における保湿ケアの
重要性について

伊藤 寿啓 先生

東京慈恵会医科大学附属第三病院
皮膚科診療部長

SEMINAR 2

“美容への誘導”だけではない
スキンケア指導

[保険の皮膚科医だからできること]

横井 彩 先生

日本橋いろどり皮膚科クリニック 院長

第89回日本皮膚科学会
東京支部学術大会

イブニングセミナー1

11/15
SATURDAY

17:40 - 18:40

第5会場

京王プラザホテル4階
「花A」

共催:第89回日本皮膚科学会東京支部学術大会/グラフィラボラトリーズ株式会社

GRAFA
LABORATORIES

SEMINAR

1

病院における 保湿ケアの重要性について

伊藤 寿啓 先生

東京慈恵会医科大学第三病院 皮膚科診療部長

皮膚疾患治療において全身療法、外用療法とともに保湿ケアは、治療の一部としてだけでなく維持、予防としても重要な役割を果たしている。病院では、複数の診療科と幅広い年齢層、入院ならびに外来において様々な疾患の患者がおり、中には、抗がん剤や分子標的薬による治療中の患者、臥床に伴うオムツの蒸れや失禁関連皮膚炎（IAD:incontinence-associated dermatitis）、全身状態や栄養状態の悪化による皮膚の脆弱、擦過、さらに褥瘡など様々な皮膚トラブルが生じる可能性がある患者がいる。このような患者への保湿ケアを行うことにより、皮膚トラブルを予防することが期待できる。本講演ではこれらを含めて、病院における保湿ケアの重要性について述べる。

SEMINAR

2

“美容への誘導”だけではない スキンケア指導 [保険の皮膚科医だからできること]

横井 彩 先生

日本橋いろどり皮膚科クリニック 院長

スキンケアは皮膚疾患の治療において、補完的要素を担う不可欠な存在です。SNSの普及により、正確な知識を効率よく取り入れる患者がいる一方で、完全に迷走しているケースもあり、スキンケアリテラシーの格差が拡大していると感じます。当院では、尋常性ざ瘡、脂漏性皮膚炎、酒さなど主に顔面の慢性皮膚疾患に対し、診療時間の許す限りスキンケア指導も併せて行っています。症状が改善したその先の「もっとキレイになりたい」にどう応えるか。美容医療以外の手段としてスキンケアは重要な役割を果たします。保険診療においては美容医療や高額な美容化粧品への誘導は行わず、ドラッグストアで購入できる製品やそれと同価格帯の選択肢を中心に提案しています。私自身、化粧品をこよなく愛し、長年ニキビと闘いスキンケアを試行錯誤した実体験もあることから、つい外来でのスキントークに熱が入りがちですが、一見非効率にも思えるこの時間は患者との信頼関係の構築に寄与すると考えています。本講演では、日々の診療で私が実践しているスキンケア指導の工夫を紹介します。